

園だより(学校評価 号)

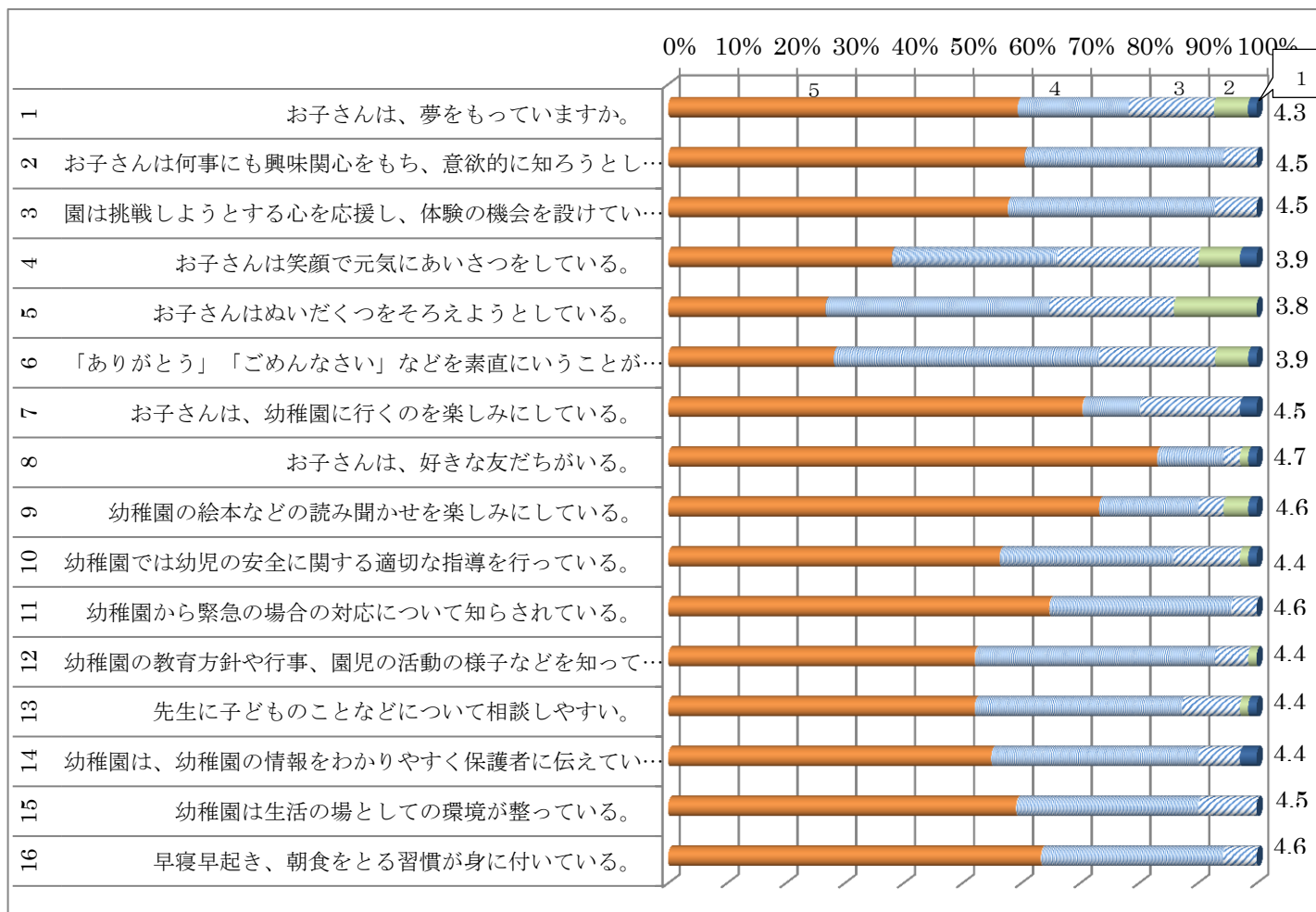
平成30年3月16日
深谷市立おかべ幼稚園



平成29年度も残すところわずかとなりました。保護者の皆さまには、いつもご理解とご協力をいただきありがとうございます。この学校評価は、1年間の園の経営や運営を振り返り、次年度に改善していくために役立ててまいります。特に、保護者の皆さまからの外部評価は、客観的に園児への教育活動の成果を振り返る貴重な数値といえます。ご協力ありがとうございました。

< 平成29年度後期 保護者評価 >

*本年度の後期は、5段階で評価していただきました。数値を公表しております。(右端に記載)



評価について

成果が見られた点

○質問項目 8「お子さんは好きな友だちがいる。」(「はい」5・4 94.4%)

本年度からスタートした「ふかやこども園」教育・保育目標「だれとでも仲良くする子」の達成状況について考える時、集団生活をとおしてよい人間関係を築くための基礎が育っているのが「大好きな友だちがいる」です。一人遊びから、遊びの仲間へ、クラスの集団へと園児たちは自分以外のお友だちとつながることを身につけます。1名の「1」評価があったことは園の課題と考えていきます。

○質問項目 16「家庭では、お子さんの早寝早起きなどを心がけ、園児は朝食をとる習慣がついている」(「はい」5・4 94.4%)

「健康な明るい子」の育成に向けて、家庭との連携は不可欠です。園で元気に生活するための基本的な生活習慣です。十分な睡眠というまでもなく、朝食をとることで体が目覚め、生き生きと一日をスタートすることができます。今後ご協力をよろしくお願いいたします。

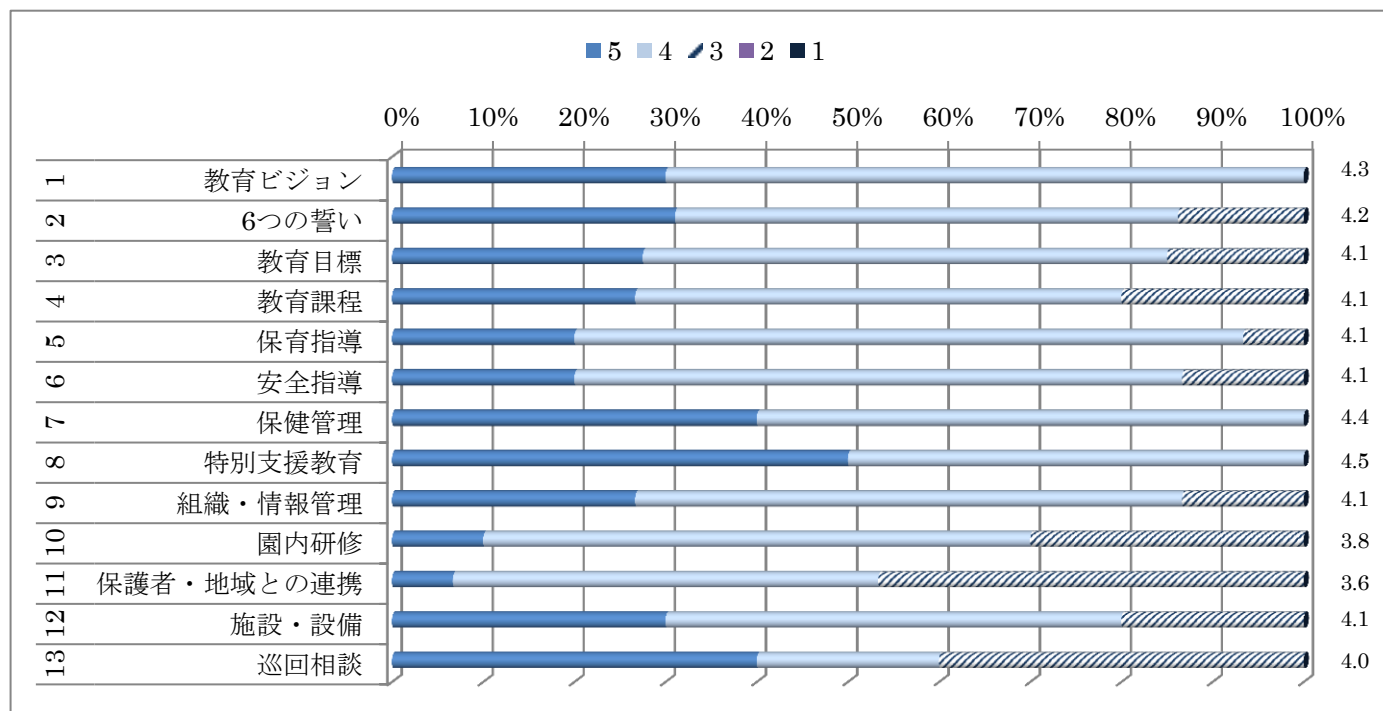
課題が見られた点

○質問項目 4「だれにでも気持ちをこめて笑顔で元気にあいさつ」 （「はい」5・4 66.2%）

○質問項目 5「ぬいだくつをそろえようとしている」 （「はい」5・4 64.8%）

幼稚園では、毎朝「先生、おはようございます」という「あいさつ」と「くつそろえ」を意識して指導してきましたが、「だれにでも」あいさつできるとか、どこでもくつそろえができるとなると、評価は下がります。小中学校でも取り組んでいる「深谷の子『6つの誓い』」、これからも継続して取り組むことで自然とあいさつやくつそろえが子供に身に付くと考えます。お家でも「できたらほめる」をお願いします。

<学校自己評価>・・・ 職員による学校自己評価



< 課題 >

○保護者・地域との連携 （5段階評価 3.6）

園外保育で近隣の小学校へでかけたり、公民館や消防署など園児たちとでかけていますが、幼稚園の先生たちが直接地域の行事や活動に参加したりすることが少なく、評価に表れていると考えます。ご家庭との連携は、ホームページの充実や個別の相談など更に工夫改善してまいります。

○園内研修の実施 （5段階評価 3.8）

職員の勤務形態がさまざまと一緒に放課後の研修に参加することが困難になっていますが、一人一人の教育技術の向上を目指して、研修内容の充実を図りたいと考えます。

平成29年度を取組を評価していただくことや自分たち自身で振り返り評価することで「がんばって成果となってきたこと」「まだまだ工夫や改善が必要であること」などが明確になりました。ご協力をありがとうございました。

記述でも「子どもたちの安全に関すること」「欠席園児への1日の活動連絡」「おはし使いについて」等ご意見や貴重な提案もいただきました。職員でご意見を共有し、すぐ改善できること（2時降園は2時に、お話を聞く態度が身に付いていない）はすぐに改善することができました。ありがとうございました。

平成30年度も、小学校へと続いていく「深谷の子『6つの誓い』」の定着を基礎に、本年度以上の取組ができるよう努力してまいります。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

